

---

# すみれの風

佐野のぼる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

すみれの風

### 【Nコード】

N6883B

### 【作者名】

佐野のぼる

### 【あらすじ】

大人しくて絵ばかり描くすみれと、グループに留まりたいあまり自分を偽る小夜。やがてクラスののけ者にされていくすみれ。それを、一方で友達としてかばう小夜と、いじめ続ける強力グループ員の小夜。

「あ、あの子また絵描いてる。」

新学年。最高学年になった、私たち港本中3年生。

なんだか今年受験だなんて、実感わかないけれど、一週間が経つ。私も三年二組でなんとか新しい友達の柚夏と知美と過ごしてる。

二組には、横浜から転校生が入ってきた。

村瀬すみれ。

肩までのまつすぐな黒い髪に、くりつとした大きな目。整った顔だちは、私もほれほれするほどだ。

だから、ただでさえ転校生で注目されるのに、かわいいんだから、最初はみんなこぞって彼女に話しかけてたっけ…。

私たちは遠巻きに見ただけなんだけど、本当に男女問わず追っ掛けられてて、休み時間なんてないくらいだった。

でも彼女、大人しすぎた。

だんだんみんな、あんまり寄ってこなくなった。

彼女もそれを望んでたのか否か、とくにかたまりつつあったグループの輪に入りこまなかったもんだから、グループ形成期に、はみ出てしまったのだ。

彼女はたいてい、俯きがちに笑い、でっかいスケッチブック抱えて、校舎の至るところにいる。

熱心に絵を描いてる。

持つ物は時に鉛筆から筆に、描く物も校舎から音楽室にと変わっても、彼女はいつでも絵を描いてる。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6883b/>

---

すみれの風

2011年1月27日13時21分発行